

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171600085		
法人名	社会福祉法人ナイスランド北方		
事業所名	グループホームきたがた		
所在地	佐賀県武雄市北方町大字志久4531番地18		
自己評価作成日	平成28年2月16日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成28年3月7日	外部評価確定日	平成28年4月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>「自分らしくほがらかに」の理念を、職員皆で共有し、お互いの意見を尊重しながら、理念の実現という大きな目標に向かってチーム一丸となり日々のケアに当たっています。また、入居者様が高い自尊心を持って生活できるように、様々な支援に取り組んでおり、ここ最近では、地域の学童見守り隊に参加し、地域の安全の為に力を発揮されています。職員は、様々な研修に積極的に参加しており、知り得た情報は、全職員で共有し、毎月1回のグループホーム会議では勉強会を実施し、認知症ケアの質の向上及びチームケアに活かしています。また、実践者研修にも積極的に参加し、実践を通して学び、一個人としての成長にも繋がっています。職員も環境の一部であることを理解し常に静かな環境作りに努め、さりげないサポートを心掛けることで、入居者様に安心した生活を提供しています。当ホームは、自然環境にも恵まれており、季節ごとに咲く花やカモが泳ぐ湖を臨むことができ、四季折々の様々な風景を楽しみながら、季節の移ろいを肌で感じるすることができます。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>落ち着いた木造和風造りの建物で、まず目につくのは玄関横の「囲炉裏の間」である。履物はそのままで自由に入りができる場所である。ここは、近所や知り合いの方が訪れたり、面会や相談の場所になったり、運営推進会議が開かれたりするなど地域と事業所を結ぶ窓口にもなっている間である。また、居間の広い窓から見える素晴らしい風景は、利用者の心を癒している。多様に利用している広いウッドデッキ、専任の職員が管理する自家菜園の畑は、自慢の一つでもある。</p> <p>開設十年目を迎えている事業所は地域との融和を大切にし、地域住民との交流の機会も多い。地域の清掃作業に参加したり、介護予防教室の開催、認知症の相談を受ける等地域へ出かけている例も多い。</p> <p>日頃の支援にあたっては、何よりも利用者の尊厳を大切にしている。利用者一人ひとりのこれまでの人生から誇りをいつも気にかけて、利用者本位の介護が行われ、利用者が安心して過ごせる生活の場になっている。「皆と一緒に過ごせるのが楽しい」「ご飯は一緒に食べるので美味しい」との利用者の声も聞こえ、表情も穏やかである。</p> <p>職員は理念の実現に意見を出し合い、「職員も環境の一部である」、「介護のマイナスイメージが消えた」、「人生の先輩から学ぶことも多い」と毎日の支援に臨んでいる。</p>

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(ひばり) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(うぐいす) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を、管理者、職員で共有し、地域においても、実践、体現できるよう地域学童見守りに参加し、地域との融和を大切にしている。入居者様の権利や尊厳が損なわれることなく、自分らしくほがらかに、過ごしていただくことを念頭に、毎日の朝礼で唱和し、理念については正面玄関の見えるところに掲示している。	理念を、管理者、職員で共有し、地域においても、実践、体現できるよう地域学童見守りに参加し、地域との融和を大切にしている。入居者様の権利や尊厳が損なわれることなく、自分らしくほがらかに、過ごしていただくことを念頭に、毎日の朝礼で唱和し、理念については正面玄関の見えるところに掲示している。	理念をそのまま踏襲するのではなく、地域との触れ合いを念頭におきながら毎年再確認と検討をしている。理念を各職員が自分の目標「道しるべ」として具体的に捉え、ホールに掲示している。管理者の適切な助言や指導も行われている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	毎年開催するお月見会や納涼祭に、地域の方の参加を呼びかけ、楽しい交流ができています。入居者様が慣れ親しんだ地域へドライブに出掛けたり、地元の敬老会や町のサロンに参加するなど、なじみの方たちとの交流の場も設けている。地域の秋祭りの時は子供浮立に立ち寄ってもらい、交流ができています。	毎年開催するお月見会や納涼祭に、地域の方の参加を呼びかけ、楽しい交流ができています。入居者様が慣れ親しんだ地域へドライブに出掛けたり、地元の敬老会や町のサロンに参加するなど、なじみの方たちとの交流の場も設けている。地域の秋祭りの時は子供浮立に立ち寄ってもらい、交流ができています。	開設時の地域への働きかけが現在の地域との交流として実を結んでいる。地域の敬老会等にも仲間から参加の呼びかけがあっている。近所の方が立ち寄ることも多い。地域の清掃作業や行事等にも職員が参加している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	法人の取り組みの一環として、老人会や地域の方々に、介護予防教室を開催したり、ボランティア交流会において認知症やグループホームについての説明を行い、理解を深めて頂くよう取り組んでいる。研修の講師の依頼があった際は、積極的に参加し認知症の啓発活動に取り組んでいる。	法人の取り組みの一環として、老人会や地域の方々に、介護予防教室を開催したり、ボランティア交流会において認知症やグループホームについての説明を行い、理解を深めて頂くよう取り組んでいる。研修の講師の依頼があった際は、積極的に参加し認知症の啓発活動に取り組んでいる。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者様の2ヶ月間の全体的な動き等を報告し、それに対する意見や避難訓練への助言、市の新たな取組や地域の情報等活発な話し合いがあっており意見や助言はサービスに活かしている。地域の方の代表の方からは、地域困っている方の情報提供があり、サービスの展開に繋がっている。	入居者様の2ヶ月間の全体的な動き等を報告し、それに対する意見や避難訓練への助言、市の新たな取組や地域の情報等活発な話し合いがあっており意見や助言はサービスに活かしている。地域の方の代表の方からは、地域困っている方の情報提供があり、サービスの展開に繋がっている。	事業所からの報告や説明だけに終わることなく、質問、意見、地域の情報等が出され有意義な会議となっている。会議内容は全職員に周知されている。利用者も参加する児童の見守り活動は、区長からの提案が運営に活かされた一つの事例である。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	公的制度(生活保護など)を必要とする利用者様の状況は、常に市担当者に報告を行い、安心サポートとの連携もとりながら、生活に支障が出ないようにしている。また、疑問や問題が出た時は、市役所などへ連絡を取ったり出向いて、助言を頂き、協力関係を築いている。	公的制度(生活保護など)を必要とする利用者様の状況は、常に市担当者に報告を行い、安心サポートとの連携もとりながら、生活に支障が出ないようにしている。また、疑問や問題が出た時は、市役所などへ連絡を取ったり出向いて、助言を頂き、協力関係を築いている。	管理者は市役所福祉担当課や社会福祉協議会に度々顔を出している。公的制度に関わる用件だけでなく、情報交換や課題、利用者の状況などを共有している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(ひばり) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(うぐいす) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する行政指導や見解、法制度を熟知し、仮に生命の危険上拘束せざるを得ない状況になったとしても身体拘束の三原則を厳守し、介護の専門家として入居者様の生命と尊厳の両立を最大限実現できるよう配慮している。	身体拘束に関する行政指導や見解、法制度を熟知し、仮に生命の危険上拘束せざるを得ない状況になったとしても身体拘束の三原則を厳守し、介護の専門家として入居者様の生命と尊厳の両立を最大限実現できるよう配慮している。	身体拘束の事例はない。外部研修会、勉強会、法人の委員会等を年間研修計画に位置付けており、拘束による弊害を全職員が認識している。玄関は、利用者の状況によっては安全管理上家族の理解を得て、一時施錠する事もある。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人勉強会や研修において、入居者様の人権を常に意識し、高齢者虐待防止法について、学び話合う機会を、設けている。必要なときは、家族と話し合いを持ち、理解を求めたり、職員は、虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。また、職員のメンタルヘルスにも力を入れている。	法人勉強会や研修において、入居者様の人権を常に意識し、高齢者虐待防止法について、学び話合う機会を、設けている。必要なときは、家族と話し合いを持ち、理解を求めたり、職員は、虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。また、職員のメンタルヘルスにも力を入れている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者や職員は「権利擁護」について法人の勉強会や外部研修等で学んでおり、学んだ事は、チームで共有している。また必要性がある時は本人と関係者で十分話し合い成年後見人制度の情報提供などを行っている。	管理者や職員は「権利擁護」について法人の勉強会や外部研修等で学んでおり、学んだ事は、チームで共有している。また必要性がある時は本人と関係者で十分話し合い成年後見人制度の情報提供などを行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	デイやショートを利用して頂き、馴染みの関係が構築されることで、不安なくスムーズな入居につなげている。契約時は文書に沿って説明を行い不安や疑問点に対しても十分な説明に努め理解と納得を得たうえでやっている。解約は本人や家族が困らないよう今後のことを十分に話し合い納得を得ている。	デイやショートを利用して頂き、馴染みの関係が構築されることで、不安なくスムーズな入居につなげている。契約時は文書に沿って説明を行い不安や疑問点に対しても十分な説明に努め理解と納得を得たうえでやっている。解約は本人や家族が困らないよう今後のことを十分に話し合い納得を得ている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者様からは、普段の会話の中から意見や要望を聞く機会が多く要望により、外食や外出に出かけている。ご家族には面会時にお話を聞いたりサービス担当者会議の時に意見や要望を聞き、早めの対応を心掛けている。また、第三者窓口について説明、掲示し、受付箱を設置している。	入居者様からは、普段の会話の中から意見や要望を聞く機会が多く要望により、外食や外出に出かけている。ご家族には面会時にお話を聞いたりサービス担当者会議の時に意見や要望を聞き、早めの対応を心掛けている。また、第三者窓口について説明、掲示し、受付箱を設置している。	利用者や家族が何でも言いやすい環境づくり、雰囲気づくりを心掛けている。スタッフの笑顔のある対応に家族も相談しやすさを感じている。家族と一緒にの外泊や外泊、家族からの誕生日プレゼント、居室の環境整備等利用者や家族から出された意見を運営に活かした例は多い。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(ひばり) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(うぐいす) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のグループホーム会議で、職員から意見や提案がっており、管理者は、その内容を検討して可能な限りできるだけ意見や提案を運営に反映させるようにしている。定期的に個人面談を実施し、意見については集約後、改善に向け取り組んでいる。	毎月のグループホーム会議で、職員から意見や提案がおり、管理者は、その内容を検討して可能な限りできるだけ意見や提案を運営に反映させるようにしている。定期的に個人面談を実施し、意見については集約後、改善に向け取り組んでいる。	業務引き継ぎや毎月の定例の会議だけでなく、日常の支援の中で随時提案や意見を出し合い、サービスの質の向上や運営に反映している。ウッドデッキの改修、野菜畑専任の職員を配置する、向精神薬の使用を極力控えること等は、職員から出された提案等が運営に活かされた一例である。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回自己評価を職員全員に提出させており、個人面談も行っている。それに管理者が評価し賞与や定期昇給に反映させ、各自が向上心を持って働けるよう努めている。また、代表者は個々の作文を通じて就業環境の把握し改善活かしている。	年2回自己評価を職員全員に提出させており、個人面談も行っている。それに管理者が評価し賞与や定期昇給に反映させ、各自が向上心を持って働けるよう努めている。また、代表者は個々の作文を通じて就業環境の把握し改善活かしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人ひとりの、能力や力量を把握し、レベルに合わせた勉強会を開催し、ケアの実践につなげている。年に1回は必ず、実践者研修に参加し、チームで実践力を養っている。又老社協やグループホーム協会の勉強会や発表会に積極的に参加する機会を設けOJTとOFF-JTの推進を図っている。	職員一人ひとりの、能力や力量を把握し、レベルに合わせた勉強会を開催し、ケアの実践につなげている。年に1回は必ず、実践者研修に参加し、チームで実践力を養っている。又老社協やグループホーム協会の勉強会や発表会に積極的に参加する機会を設けOJTとOFF-JTの推進を図っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	職員を外部研修会に積極的に参加させ、情報交換を行ったり、ホームの行事には、声をかけ参加をしてもらい交流を深め、サービスの質の向上に努めている。また、佐賀県認知症介護指導者を内部研修に招いたり、歯科や薬局で開催している勉強会を開催し、サービスの質の向上に取り組んでいる。	職員を外部研修会に積極的に参加させ、情報交換を行ったり、ホームの行事には、声をかけ参加をしてもらい交流を深め、サービスの質の向上に努めている。また、佐賀県認知症介護指導者を内部研修に招いたり、歯科や薬局で開催している勉強会を開催し、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用に至る前に、必ずホームにきて頂き、居室や共有スペースなど全体を見てもらうようにしている。その際、さりげない会話を通じて相互理解を深め、信頼関係を構築し、情報収集に努めている。聞いたことは、全職員に伝え、情報を共有することで、安心して過ごしてもらうよう関係づくりに努めている。	利用に至る前に、必ずホームにきて頂き、居室や共有スペースなど全体を見てもらうようにしている。その際、さりげない会話を通じて相互理解を深め、信頼関係を構築し、情報収集に努めている。聞いたことは、全職員に伝え、情報を共有することで、安心して過ごしてもらうよう関係づくりに努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(ひばり) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(うぐいす) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	職員は、ホーム見学の際や、入居申し込みの際に、困っていること、不安なこと、要望等に傾聴し、家族の抱える思いを十分に受け止め、円滑なサービスの利用ができるよう信頼関係の構築に努めている。	職員は、ホーム見学の際や、入居申し込みの際に、困っていること、不安なこと、要望等に傾聴し、家族の抱える思いを十分に受け止め、円滑なサービスの利用ができるよう信頼関係の構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人や家族の抱えておられる問題について、十分に聞き取りを行い、現状に即したサービスの情報を提供したり、紹介したりしている。	ご本人や家族の抱えておられる問題について、十分に聞き取りを行い、現状に即したサービスの情報を提供したり、紹介したりしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様の体験談や会話の中から学ぶと所は学びその方の得意とする分野の力を発揮してもらうことにより自身を持って生活してできるよう支援している。又、よくわからないところは入居者様に尋ねながら行うようにしている。	利用者様の体験談や会話の中から学ぶと所は学びその方の得意とする分野の力を発揮してもらうことにより自身を持って生活してできるよう支援している。又、よくわからないところは入居者様に尋ねながら行うようにしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	定期的に入居者様の状態を報告し、要望などを伝え理解して頂き、職員と家族が互いに協力することで、本人を支えていく関係を築いている。又、言われたことや思いも伝え、本人とご家族のきずなを大切にしたい支援ができています。	定期的に入居者様の状態を報告し、要望などを伝え理解して頂き、職員と家族が互いに協力することで、本人を支えていく関係を築いている。又、言われたことや思いも伝え、本人とご家族のきずなを大切にしたい支援ができています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人様が入居前より参加されていた敬老会や町のサロンへの参加を継続し、馴染みの関係や場所が途切れないよう支援している。また地元の行事や敬老会に参加し再会の機会も設けている。	本人様が入居前より参加されていた敬老会や町のサロンへの参加を継続し、馴染みの関係や場所が途切れないよう支援している。また地元の行事や敬老会に参加し再会の機会も設けている。	これまで住み慣れた地区での敬老会やサロンへの参加、希望による自宅付近や地域までのドライブ、お店や移動販売車での買い物などを支援している。玄関横の「いろいろの間」へ地元の方が訪ねてきたり、野菜やおすそわけをいただくことも多い。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事やお茶の時など、入居者様それぞれが誘いあい、声掛けし、一緒に出てこられるなど、お互いに支えあえる関係性の構築ができています。しかし、輪の中に入れない方には、スタッフが間に入ったり、数名を別の環境に誘い孤立がないように支援しています。	食事やお茶の時など、入居者様それぞれが誘いあい、声掛けし、一緒に出てこられるなど、お互いに支えあえる関係性の構築ができています。しかし、輪の中に入れない方には、スタッフが間に入ったり、数名を別の環境に誘い孤立がないように支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(ひばり) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(うぐいす) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用が終了しても、面会や様子伺いこれまでの関係性を大切にしている。また、必要に応じて本人・家族への、サポートの支援をおこなっている。同一敷地内に移られた方が、顔なじみの入居者様に時々会いに来られている。	利用が終了しても、面会や様子伺いこれまでの関係性を大切にしている。また、必要に応じて本人・家族への、サポートの支援をおこなっている。同一敷地内に移られた方が、顔なじみの入居者様に時々会いに来られている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様との関わりを大切にしながら、その方の思いや意向を聞かせて頂き、表情やしぐさ、行動などから発せられるサインも見逃さないよう把握に努めている。困難な場合は、会議や申し送りで話し合い、内容によっては家族に協力を依頼し、できるだけ本人本位になるように努めている。	入居者様との関わりを大切にしながら、その方の思いや意向を聞かせて頂き、表情やしぐさ、行動などから発せられるサインも見逃さないよう把握に努めている。困難な場合は、会議や申し送りで話し合い、内容によっては家族に協力を依頼し、できるだけ本人本位になるように努めている。	日常の会話やつぶやき、ちょっとしたしぐさや表情から、また、家族からの情報等から利用者の思いを把握している。利用者のサインを問題行動とは捉えずに、心の叫び、不安からくる行動や表情と認識している。そして、新たな可能性を発見し、それをケアに活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用前に、ご本人やご家族にお会いし、これまでの生活歴や環境、馴染みの暮らし方やサービス利用の経過を尋ね、フェースシートに記入し、チームで共有できるようにしている。使用されていたソファや仏壇、テレビなど居室に置いてその方のなまされた環境の中で生活して頂けるよう支援している。	利用前に、ご本人やご家族にお会いし、これまでの生活歴や環境、馴染みの暮らし方やサービス利用の経過を尋ね、フェースシートに記入し、チームで共有できるようにしている。使用されていたソファや仏壇、テレビなど居室に置いてその方のなまされた環境の中で生活して頂けるよう支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別のケースに一日の過ごし方、心身状態や役割を記入し、職員は、出勤時に必ず目を通し現状の把握の努めている。また、状態の変化があった時等は、申し送りノートや口頭でも報告し情報を共有しケアにつなげている。プランの実行中も介護経過の記録や日々の記録を参考に現状の把握に努めている。	個別のケースに一日の過ごし方、心身状態や役割を記入し、職員は、出勤時に必ず目を通し現状の把握の努めている。また、状態の変化があった時等は、申し送りノートや口頭でも報告し情報を共有しケアにつなげている。プランの実行中も介護経過の記録や日々の記録を参考に現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人や家族の生活に対する意向や要望を大切に、スタッフ、主治医の意見を踏まえ、サービス担当者会議を開催している。状態が変化された場合は、随時個別の、カンファレンスを行っている。事前に介護スタッフに日頃の状況・問題点を尋ね、それを基にカンファレンスを行い集約後、計画に活かしている。	ご本人や家族の生活に対する意向や要望を大切に、スタッフ、主治医の意見を踏まえ、サービス担当者会議を開催している。状態が変化された場合は、随時個別の、カンファレンスを行っている。事前に介護スタッフに日頃の状況・問題点を尋ね、それを基にカンファレンスを行い集約後、計画に活かしている。	利用者や家族の意向や要望、諸情報を基にして、一人ひとりにあった実現可能な具体的なプランが全職員で作成されている。担当者会議には家族も参加している。定例に、又は必要に応じて随時カンファレンスが開かれ、細部にわたってケアの統一を図っている。日常の気づきをきちんと記録し、データ化されている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(ひばり) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(うぐいす) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者様の日々の様子やケアプランに基づく実践や気づきを個別ケース記録、施設介護経過、申し送りノートに記入し、毎日全職員が入居者様の現状を共有している。また、情報を踏まえて意見を出し合い、モニタリングを実施し、ケアプランの見直しに活かしている。	入居者様の日々の様子やケアプランに基づく実践や気づきを個別ケース記録、施設介護経過、申し送りノートに記入し、毎日全職員が入居者様の現状を共有している。また、情報を踏まえて意見を出し合い、モニタリングを実施し、ケアプランの見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に必要なニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人やご家族の状況、その時々々のニーズに対応するため、双方で十分な話し合いを行い意向に添った柔軟な支援、サービスに取り組んでいる。入居者様の状態の変化時は、家族の要望などに応じて、主治医との連携をとり、受診などの対応している。	本人やご家族の状況、その時々々のニーズに対応するため、双方で十分な話し合いを行い意向に添った柔軟な支援、サービスに取り組んでいる。入居者様の状態の変化時は、家族の要望などに応じて、主治医との連携をとり、受診などの対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域ボランティアの積極的な受け入れをしており、大掃除等も協力して下さっている。地域学童見守り隊に参加し、地域の安全の為に力を発揮されている。高校生のボランティアも受け入れており、交流の場を設けている。	地域ボランティアの積極的な受け入れをしており、大掃除等も協力して下さっている。地域学童見守り隊に参加し、地域の安全の為に力を発揮されている。高校生のボランティアも受け入れており、交流の場を設けている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診については、本人や家族の希望を、大切に安心して医療が受けられるよう、かかりつけ医を継続してもらっている。基本的に受診は、家族対応だが、受診が困難な場合は、往診を依頼したり、ホームより受診同行を行っている。医療機関との情報交換を行い適切な医療が受けられるよう支援している。	受診については、本人や家族の希望を、大切に安心して医療が受けられるよう、かかりつけ医を継続してもらっている。基本的に受診は、家族対応だが、受診が困難な場合は、往診を依頼したり、ホームより受診同行を行っている。医療機関との情報交換を行い適切な医療が受けられるよう支援している。	利用者、家族が希望する病院での受診である。受診にあたっては家族が遠方だったり、高齢の場合もあり、職員が同行しての支援であり、家族には受診結果や経過を必ず報告している。協力医療機関とは何時でも相談ができる体制があり、家族も安心感をもっている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師と契約しており、24時間連絡可能な体制になっている。介護職員は、入居者様の健康状態の把握に努め、状態が変化した場合は、訪問看護師に報告、相談し医師との連携を取りながら、適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護師と契約しており、24時間連絡可能な体制になっている。介護職員は、入居者様の健康状態の把握に努め、状態が変化した場合は、訪問看護師に報告、相談し医師との連携を取りながら、適切な受診や看護を受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際は、入院前の病状及び身体状況を、説明し情報の提供を行っている。また家族との連携を密に行い、早期退院に向けて、病院関係者との情報交換や相談に努め、定期的に容体訪問も行っている。入居者様が、安心して治療を受けられるように、日頃から病院関係者との関係作りに努めている。	入院の際は、入院前の病状及び身体状況を、説明し情報の提供を行っている。また家族との連携を密に行い、早期退院に向けて、病院関係者との情報交換や相談に努め、定期的に容体訪問も行っている。入居者様が、安心して治療を受けられるように、日頃から病院関係者との関係作りに努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(ひばり) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(うぐいす) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に、重度化した場合における対応の指針や看取りに関わる指針を説明している。重症化した場合は、本人と家族の希望をできる限り尊重し、できる事を十分に説明しながら方針を共有し、医療との連携を図り、支援に取り組んでいる。看取りになった場合は、体制が整った併設の施設に繋ぐこともある。	契約時に、重度化した場合における対応の指針や看取りに関わる指針を説明している。重症化した場合は、本人と家族の希望をできる限り尊重し、できる事を十分に説明しながら方針を共有し、医療との連携を図り、支援に取り組んでいる。看取りになった場合は、体制が整った併設の施設に繋ぐこともある。	指針をもとに入居時に納得のいく話し合いが行われている。体調の状況が変化した場合は主治医と連携をとりながら家族にはこまめに連絡をとっている。看取りの希望があった場合は併設の特養に引き継いでおり、事業所での看取り事例はこれまでに無い。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応については、マニュアルを作成し、マニュアルを基に定期的に勉強会を開催しており、勉強会に参加することで、実践力を身に付けている。	急変時の対応については、マニュアルを作成し、マニュアルを基に定期的に勉強会を開催しており、勉強会に参加することで、実践力を身に付けている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、昼間と夜間の想定で、避難訓練を行っており、行政、地元区長、近隣の住民の方、地元消防団、婦人会に協力をさせていただき、地域と一体になった避難訓練を実施している。また、法人の安全管理委員会に、職員が所属しており、防災知識向上への取り組みがなされている。	年2回、昼間と夜間の想定で、避難訓練を行っており、行政、地元区長、近隣の住民の方、地元消防団、婦人会に協力をさせていただき、地域と一体になった避難訓練を実施している。また、法人の安全管理委員会に、職員が所属しており、防災知識向上への取り組みがなされている。	消防署、地元消防団、隣保班の住民、区長など地域と一体になったの避難訓練が年に2回実施されている。その結果については運営推進会議にも報告し、助言ももらっている。非常時や避難訓練の知らせは近隣住民にも即刻届くようにスピーカー等の設備が整えられている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様に、接する際は、目上の方への敬意を持ち、その方の人生背景や性格を考慮し、入居者様と職員の距離感に気を付けながら、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応を心がけることを継続している。	入居者様に、接する際は、目上の方への敬意を持ち、その方の人生背景や性格を考慮し、入居者様と職員の距離感に気を付けながら、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応を心がけることを継続している。	利用者の尊厳を最大限に尊重しての支援を基本にしている。本人の誇りを大事にし、年長者として敬意をはらいながらも自然な様子で接している。利用者から生活の知恵や文化を教えられることも多い。個人情報や規程どおりにきちんと管理されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりの人生背景や性格を考慮し、自然に希望や思いの表出ができるよう、雰囲気づくりに努めている。また、コミュニケーションを通して、自己決定ができるように働きかけている。	一人ひとりの人生背景や性格を考慮し、自然に希望や思いの表出ができるよう、雰囲気づくりに努めている。また、コミュニケーションを通して、自己決定ができるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は業務を優先するのではなく、一人ひとりの生活スタイルを大事にした支援を心掛けている。	職員は業務を優先するのではなく、一人ひとりの生活スタイルを大事にした支援を心掛けている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(ひばり) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(うぐいす) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の希望により、行きつけの美容院に連れていったり、愛用の化粧品等がなくなった場合は、ご家族に連絡し、持ってきていただいている。また、クリスマスのプレゼントにボディークリーム等の化粧品を差しあげることで、おしゃれを楽しまれている。	ご本人の希望により、行きつけの美容院に連れていったり、愛用の化粧品等がなくなった場合は、ご家族に連絡し、持ってきていただいている。また、クリスマスのプレゼントにボディークリーム等の化粧品を差しあげることで、おしゃれを楽しまれている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	生活歴を大切に、朝食に好みのトーストやコーヒーを提供したり、誕生日には、希望により外食やお好きなメニュー、行事には、特別なメニューを用意し、職員と共に食卓を囲む機会を設けている。また、台所仕事を好まれる方には、配下膳や、お盆拭き等職員と一緒に楽しんで出来るよう支援している。	生活歴を大切に、朝食に好みのトーストやコーヒーを提供したり、誕生日には、希望により外食やお好きなメニュー、行事には、特別なメニューを用意し、職員と共に食卓を囲む機会を設けている。また、台所仕事を好まれる方には、配下膳や、お盆拭き等職員と一緒に楽しんで出来るよう支援している。	職員も一緒に食卓を囲み、さりげなく気を配りながら、同じ食事をいただいている。できる方は食事を自分で運んだり、「みんなで食べた方がおいしい」との会話があたりして家庭的な雰囲気のある食事である。食べこぼし用のエプロンの使用も無い。苑の畑で収穫した野菜も食事に彩りを添えている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態や力に合わせた食事量や形態を工夫し、嚥下状態の悪い方には、母体の理学療法士や管理栄養士に評価をもらい、状態に合わせた食事を提供している。水分量が少ない方には、ゼリーやお好きな飲み物で補給してもらうよう工夫している。食事や水分量は、毎日記録し管理している。	個々の状態や力に合わせた食事量や形態を工夫し、嚥下状態の悪い方には、母体の理学療法士や管理栄養士に評価をもらい、状態に合わせた食事を提供している。水分量が少ない方には、ゼリーやお好きな飲み物で補給してもらうよう工夫している。食事や水分量は、毎日記録し管理している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、義歯や自歯のブラッシングをしてもらい、磨き残しや舌の汚れは、スワブを使用したり、職員が一部介助することで、誤嚥性肺炎の予防や清潔保持ができています。夜間帯は、職員サイドで預かり義歯洗浄剤に浸け管理している。また、必要に応じて、訪問歯科を利用しており、口腔の管理に努めている。	毎食後、義歯や自歯のブラッシングをしてもらい、磨き残しや舌の汚れは、スワブを使用したり、職員が一部介助することで、誤嚥性肺炎の予防や清潔保持ができています。夜間帯は、職員サイドで預かり義歯洗浄剤に浸け管理している。また、必要に応じて、訪問歯科を利用しており、口腔の管理に努めている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンの把握に努め、不安軽減のため排泄用品等の選定、言葉かけや定時のトイレ誘導を行い、排泄の失敗の減少に努めている。布パンツに近い紙パンツの使用で、不安の軽減に繋がった。また、排泄動作に不安があられる方には、見守りや、一部介助を行うことで、安心されている。	個々の排泄パターンの把握に努め、不安軽減のため排泄用品等の選定、言葉かけや定時のトイレ誘導を行い、排泄の失敗の減少に努めている。布パンツに近い紙パンツの使用で、不安の軽減に繋がった。また、排泄動作に不安があられる方には、見守りや、一部介助を行うことで、安心されている。	排泄に至る生活リズムや習慣が、一人ひとりきちんと把握されている。紙パンツの工夫や、自尊心を損なわないさりげない誘導や声かけによって、自立への支援が行われている。排泄への不安が無くなり、自立への改善が見られた方もある。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(ひばり) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(うぐいす) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	畑で採れた野菜を提供したり、水分を多めに摂ってもらったり、ヨーグルト等の食品を取り入れ、予防に努めている。また、夜間帯に食物繊維入りの飲料で水分摂取をして頂き、日中のスムーズな排便に繋げている。慢性の方には、投薬で対応し医師に相談の上、服薬のコントロールを行っている。	畑で採れた野菜を提供したり、水分を多めに摂ってもらったり、ヨーグルト等の食品を取り入れ、予防に努めている。また、夜間帯に食物繊維入りの飲料で水分摂取をして頂き、日中のスムーズな排便に繋げている。慢性の方には、投薬で対応し医師に相談の上、服薬のコントロールを行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	個室で入浴されており、時には仲の良い入居者様同士で入れ、入浴剤を使用し色や香りも楽しませている。湯温や手順等一人ひとりの希望やご家族様の意向も取り入れ、リスクのある方は、安全面を考慮し福祉用具を使用している。入浴をお断りされる方には、無理強いせず別日にて対応している。	個室で入浴されており、時には仲の良い入居者様同士で入れ、入浴剤を使用し色や香りも楽しませている。湯温や手順等一人ひとりの希望やご家族様の意向も取り入れ、リスクのある方は、安全面を考慮し福祉用具を使用している。入浴をお断りされる方には、無理強いせず別日にて対応している。	一人ひとりの希望によりゆっくりとした気持ちでの入浴支援が行われている。お湯の温度、入浴順、入浴時間など各人の希望に沿った入浴である。入浴はスタッフと本音で話せる時間でもある。冬場は、特にヒートショックに注意が払われている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体調や希望に応じて、居室や畳の間等でくつろがれている。夜は、居室でテレビを視聴後に就寝されたり、仲間同士で居室で会話後就寝されている。また、室温調整を随時行い、足元に湯たんぽを置いたり、愛用品の寝具で眠られている。不眠時は、不安軽減の援助を行うことで安心されている。	個々の体調や希望に応じて、居室や畳の間等でくつろがれている。夜は、居室でテレビを視聴後に就寝されたり、仲間同士で居室で会話後就寝されている。また、室温調整を随時行い、足元に湯たんぽを置いたり、愛用品の寝具で眠られている。不眠時は、不安軽減の援助を行うことで安心されている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別のケースに最新の薬状を入れ、薬の内容の変更があった場合には申し送りに記入し、一人ひとりが服用されている薬について理解し、症状の変化にも十分に注意している。薬は個別の袋に入れ、誤薬防止のため、4回の確認を行い、服薬の際は、名前、日付を確認の上、服用してもらっている。	個別のケースに最新の薬状を入れ、薬の内容の変更があった場合には申し送りに記入し、一人ひとりが服用されている薬について理解し、症状の変化にも十分に注意している。薬は個別の袋に入れ、誤薬防止のため、4回の確認を行い、服薬の際は、名前、日付を確認の上、服用してもらっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	衣類の補正や雑巾縫い、洗濯物たたみや居室や廊下の床拭き、色塗りやカラオケ等一人ひとりの生活歴や力を活かし、生きがいや喜びのある毎日を過ごして頂けるよう支援している。また買い物に出かけられ、好きな菓子を選んだり、行事の際には食事等の要望を聞きながら計画を立て実施できている。	衣類の補正や雑巾縫い、洗濯物たたみや居室や廊下の床拭き、色塗りやカラオケ等一人ひとりの生活歴や力を活かし、生きがいや喜びのある毎日を過ごして頂けるよう支援している。また買い物に出かけられ、好きな菓子を選んだり、行事の際には食事等の要望を聞きながら計画を立て実施できている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(ひばり) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(うぐいす) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩や買い物、ドライブ、外食等希望された際は、できる限り要望にお応えできるよう努めている。また、ご本人様のご家族様にお伝えし、外食の機会を設けて頂いている。	散歩や買い物、ドライブ、外食等希望された際は、できる限り要望にお応えできるよう努めている。また、ご本人様のご家族様にお伝えし、外食の機会を設けて頂いている。	近所や隣接する福祉施設の広い敷地内を散歩したり、近くの「美彩の森」のベンチからお茶を飲みながら風景を楽しんだりしている。車椅子利用の方も散歩や日光浴を楽しんでいる。希望に買い物にも出かけている。桜、紅葉見学など季節毎の希望による外出支援もある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族と相談の上、自己管理出来る方は、お金を所持されており、苑外活動や移動販売、病院受診の際、好きな物を購入され、支払いもご自分でされる。定期的に行きつけの美容室にカットや毛染めに行かれ、有効にお金を使われている。	ご家族と相談の上、自己管理出来る方は、お金を所持されており、苑外活動や移動販売、病院受診の際、好きな物を購入され、支払いもご自分でされる。定期的に行きつけの美容室にカットや毛染めに行かれ、有効にお金を使われている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	友人や家族に電話をされている。携帯電話を持っておられる方は、スタッフがサポートし家族と連絡を取られている。毎月の便りや年賀状は色を塗ってもらい、家族に一言直筆で記入されている。	友人や家族に電話をされている。携帯電話を持っておられる方は、スタッフがサポートし家族と連絡を取られている。毎月の便りや年賀状は色を塗ってもらい、家族に一言直筆で記入されている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様が作成された干支の貼り絵や運動会の賞状、献立等を掲示し、季節感や生活感を大事にした設えを心掛けている。温度、湿度の照明等の調整を細めに行い、職員も環境の一部であるという意識をし、居心地のいい、静かな環境作りに努めている。	入居者様が作成された干支の貼り絵や運動会の賞状、献立等を掲示し、季節感や生活感を大事にした設えを心掛けている。温度、湿度の照明等の調整を細めに行い、職員も環境の一部であるという意識をし、居心地のいい、静かな環境作りに努めている。	落ち着いた色調と明るい色のカーテンがある広い居間は、天窓から自然の光が差し込み、居心地の良い空間になっている。広いウッドデッキは、居間から自由に入出りが出来、食事会をしたり、月見の場所になったりと利用者にとっても素敵な場所になっている。一人でゆっくりと過ごせる場所もある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関やウッドデッキのベンチ、談話コーナーのソファで独りで過ごしたり、気の合う仲間同士でテーブルを囲みながら、話をしたり、ソファに座りながら、各自ゆっくりと穏やかな時間をお過ごしになられている。	玄関やウッドデッキのベンチ、談話コーナーのソファで独りで過ごしたり、気の合う仲間同士でテーブルを囲みながら、話をしたり、ソファに座りながら、各自ゆっくりと穏やかな時間をお過ごしになられている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(ひばり) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(うぐいす) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人や家族と相談し、馴染みの品物を持ってきていただき、自分の家により近い環境で、安心して過ごしてもらような工夫をしている。自室に仲間を招きお茶やお菓子をたべながら、話をしたり、テレビをみて心地よく過ごしたり、一人で本を読まれたりと居心地のよい場所となっている。	ご本人や家族と相談し、馴染みの品物を持ってきていただき、自分の家により近い環境で、安心して過ごしてもらような工夫をしている。自室に仲間を招きお茶やお菓子をたべながら、話をしたり、テレビをみて心地よく過ごしたり、一人で本を読まれたりと居心地のよい場所となっている。	各居室がその方の存在を現わす、落ち着いて居心地良く過ごせる場所になっている。なじみの品の持ち込みに特に制限はなく、好きな本、観葉植物、家族の写真、お気に入りの洋服、使い慣れた椅子、ご仏壇、その他色々なものが見受けられる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人の残された能力の見極め、道標や掲示を掲示することで、できるだけ混乱がないように工夫している。又、廊下やトイレ、浴室には手すりを設置し、安全かつ自立した生活が送れるよう支援している。	本人の残された能力の見極め、道標や掲示を掲示することで、できるだけ混乱がないように工夫している。又、廊下やトイレ、浴室には手すりを設置し、安全かつ自立した生活が送れるよう支援している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない